



東京YMCAの ボランティア リーダーとは？

Volunteer
Leader



「リーダー」は、安全なプログラムの進行を支えるためのトレーニングを受けた、学生ボランティアです。保護者でも教師でもないリーダーたちは、仲間の一人として子どもたちの関係をつなぎ、一人ひとりの気持ちに寄り添う、YMCAのキャンプに欠かせない存在です。

そして、リーダーが安全にスキープログラムを展開し、子どもたちの成長を支えるひとときは、彼ら自身が成長していく時間でもあります。



子どもたちの安全安心、成長を支える力を身につける

リーダーを育てる「リーダートレーニング」

東京YMCAでは、スキーキャンプが、ただのスキー合宿にとどまらず、子どもたちの成長となる時間を作り上げていくために、たくさんの準備をしています。キャンプに参加する全リーダーが必ず参加するリーダートレーニングは、その中でも大切な取り組みの一つです。

子どもたちに「伝える」 スキーレッスン法をマスターする

リーダー達のスキー技術の向上を目指すことはもちろん、東京YMCAが80年以上も蓄積しつづけて、時代に合わせてアレンジされてきた、スキーレッスンのノウハウを学びます。共に喜び、はげまし、気持ちに寄り添う時間を上げる準備を重ねて、本番のスキーキャンプがすべての子どもたちにとって実りあるものとなることを目指します。



子どもたちへの伝え方と、スキー技術の向上を、共にじっくり教わる時間でした！



【 秦 和也さん
キャンプネーム：ねりけし 】



小集団で生活を「つくる」ために 大切にすべきことを考えあう

キャンプで子どもたちと思いきり楽しむために、スキーで、生活の中で「子どもたちとどのように向き合い、どのような時間を過ごしたいか」を考えます。仲間にアドバイスをもらったり、仲間の発表をヒントにしたり。それぞれが頭の中にあることを話し合う中で、一人ひとりが、リーダーとしてさらに成長していく時間です。

ここでの話し合いが、本番のグループタイムをより盛り上がるものにしてくれます！



【 竹内 涼子さん
キャンプネーム：がうちよ 】

広く皆さまより頂戴している、「ユースボランティアリーダー養成募金」は、このプログラムの運営に活用されています。皆様のご厚意に心より感謝いたします。

「ユースボランティア・リーダーズフォーラム」

リーダーを育む場は、キャンプに向けた準備の集いだけではありません。年1回開催される「ユースボランティア・リーダーズフォーラム」は、東日本のYMCAに所属する、活動歴2年未満のボランティアリーダーが集まり話し合う、ディスカッションを中心としたイベント。広い視点で、「今リーダーに求められるものはなにか」じっくり対話する場です。

「リーダーとしての私」を皆でふりかえる

フォーラムでは、ふだん顔を合わせることのない、他のYMCAに所属するリーダー達と話し合います。そこで誰もが驚くのは、いつも一緒に活動しているリーダーたちと話す中では出てこないような考え方や価値、手法に出会うことだとか。

自分たちだけでは気づくことのなかった目標や疑問、大切にすべきことに触れる時間の中には、プログラムの中で子どもたちとより深く、関わりあうヒントが詰まっているといいます。



初めて会うリーダー仲間たちと、理想のリーダー像について考えあう3日間の合宿です。



東京YMCA山中湖センターに集まった、東日本地区のリーダー達。総勢34名が参加しました。

対話が共感をつくっていく

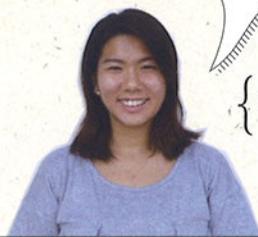
仲間とちょっと意見が合わなくても、「それでも話しあおう」と、互いに考えを交えようと思えることが、それぞれにとって成長のきっかけになるのだと思うようになりました。これは僕らに限らず子ども達にとっても同じことでしょう。その先にこそ、みんなが笑顔でいられる時間がある。そんな考えをもらうきっかけになりました。



田中 浩明さん
キャンプネーム：せんちよー

求められるものを「考え続ける」

他のYMCAのリーダーと意見を交換する体験は、刺激的な時間でした。「リーダーに求められているものとは？」という問いに、私は真正面から大正解を出そうとして迷っていました。でも皆で話し合うなかで気づいたんです。それは、一人ひとりの求めていることを常に「考え続けること」なのではないかって。この思いを胸に、この冬は充実したスキーキャンプにできればと思います。



中村 有紀さん
キャンプネーム：ニコン

「違っていい」を大切に

このフォーラムで、私が大切にしたいと思うようになったことは、「自分が思っていることを大切にすること」。多勢の意見と少し違う考えを、うまくアピールできずにいたのですが、そんな気持ちも汲み取ってもらってとことん話し合うことができた。受け入れあう関係、それは違いを認め合うことが入り口になるのだと思います。



敷波 幸平さん
キャンプネーム：ドリー